

㊦ 最 終 報 告 書

国際交流センター長殿

2020年 2月 4日

O I U学籍番号	Y18015	氏 名	岩中羽奈子
国 名	中国	留学先	四川大学

留 学 期 間	2019年 8月 29日 ~ 2020年 1月 7日		
---------	----------------------------	--	--

交換留学が終了しましたので、以下のとおり報告いたします。

記

受講科目	受講期間	週当たり授業時間	取得単位数
中级综合汉语-1	2019. 09. 09-2020. 01. 05	360分(90分×4回)	8
汉语听力口语-1	2019. 09. 09-2020. 01. 05	180分(90分×2回)	3
汉语阅读-2	2019. 09. 09-2020. 01. 05	180分(90分×2回)	2
汉语写作基础-1	2019. 09. 09-2020. 01. 05	90分(90分×1回)	2
中华文化-1	2019. 09. 09-2020. 01. 05	135分(135分×1回)	3
四川方言	2019. 09. 09-2020. 01. 05	90分(90分×1回)	2
体育-1	2019. 09. 09-2020. 01. 05	90分(90分×1回)	2
体育-2	2019. 09. 09-2020. 01. 05	90分(90分×1回)	2

履修・教務、学習面について

履修については、特にネットや紙で登録する必要はありません。初日にオリエンテーションがあり、その後簡単なテストと先生との対話で、クラスが決まり、授業を受ける海外教育学院という校舎の一階にクラスが張り出されます。ですが初めの一週間はどのクラスに行ってもいいので、自分のレベルに合ったクラスを見つけます。総合の授業の先生が担任の先生になります。授業科目によってクラスを変える人もいますが、あまりお勧めはしません。

教務は全て事務室で行われます。中国に着いて初めに事務室で手続きをしに行きます。新学期が始まる前は新生がみんな事務室に来るので人が多く待たなければならなかったり、昼休憩があったり、時間に余裕を持って行くべきだと思います。アジア圏担当の先生が一人います。オリエンテーションが終わってから事務室に学生証を貰いにいきました。

学習面について。授業内容はクラスによって異なります。私が受けたクラスは毎日宿題と小テストがありました。パワーポイントを作る課題が出るクラスなどもあります。私のクラスはほとんどなかったのですが、日本から持ってきたパソコンは使いませんでした。教科によってはテスト時に辞書の持ち込みが可能な場合もあるので、辞書は持ってきておくと便利だと思います。基本的にどの授業も予習復習をしていました。テストは中間と期末の二回あります。日本で勉強しておけばよかったことは会話、リスニングです。リスニングは検定のリスニング教材を使う他に、中国の音楽を聞いたり、字幕付きの動画を見て耳を慣らすことも効果的だと思います。自習は空き教室を使うことができます。校舎と寮の間に図書館もあります。図書館は学生証があれば使用できますが、席が埋まっていることが多いです。

生活面について

寮は二人部屋で、ベット、タンス、机、シャワー、トイレ、洗面台、エアコン、テレビ、ポット、Wi-Fiがあります。寮費は一学期分をまとめて現金か中国の銀行のカードで払います。エアコンは時期によって冷房、暖房が使える期間が決まっています。シャワーは深夜になると少し水量が減り、水温も少しだけ低くなります。もしも深夜に帰宅する時、鍵を忘れてしまったら、お金を払わなければならないことがあります。工事や、点検などの連絡は寮の入り口に張り出されるので、頻繁に確認しておくべきです。校舎はすぐ近くの海外教育学院と、少し離れたところに外国語学院というところがあります。大体は海外教育学院で授業を受けます。大学内には食堂や、銀行、小さいスーパー、印刷屋、携帯会社、飲食店などなんでもあります。大学の外にも沢山飲食店があり、寮にはキッチンがないので三食外食ですが、食には困りません。食堂は学生証にお金を入れて、カードで支払います。大学内は本当に広いのでレンタルサイクルをいつも使います。アプリを登録して、1ヶ月乗り放題のものを購入していたのでどこに行くにも自転車を使っていました。他にもバス、地下鉄、タクシーがあります。バスは時刻表がないことと、運転が荒いのであまり使いませんでした。地下鉄は毎回乗る前に荷物検査があります。タクシーは複数人で出かける時に割り勘すると安く済むのと、アプリで目的地を登録するとすぐに来てくれるので便利です。生活用品は西門の近くにあるウォールマートというスーパーで買っていました。携帯に慣れれば、ネット通販を利用するのも便利です。ネットで買ったものは寮の一階の棚に届くので、サインをして勝手に持っていきます。支払いは基本携帯のWeChat払いで全て賄えます。充電が無くなれば終わりですが、街中には貸し出しの充電器が沢山設置してあります。同じ種類であればどこに返しても大丈夫です。

費用概算

この留学にかかった留学費用総額		約	53.9	万円		
内訳	渡航・帰国費用（航空券）	約	7.7	万円		
	海外旅行傷害保険	約	8.7	万円		
	査証（ビザ）取得費用	約	1	万円		
	日用品	約	0.6	万円/月×	5	ヶ月
	食費	約	1.7	万円/月×	5	ヶ月
	寮費	約	1.6	万円/月×	5	ヶ月
	水・光熱費	約	(寮費に含む)	万円/月×	5	ヶ月
	インターネット	約	0	万円/月×	5	ヶ月
	利用方法 学内で利用・寮で利用・インターネットカフェ					
	複数回答可。○をつけること。					
	その他（用途：ケータイ代・		0.8	万円/月×	5	ヶ月
その他（用途：旅行費）		2.6	万円/月×	5	ヶ月	
(医療費、教科書代、現地携帯電話代などあれば)						

滞在中の経費について

入寮時にデポジットの200元を払います。寮費は1日36元で、一学期分をまとめて支払います。200元は帰国時に領収書と引き換えで返してもらえます。私は日本で携帯のSIMカードを設定し忘れたので、新しく中国の携帯を買いました。一番安い800元のものを買いました。生活用品はシーツや布団、掃除道具、トイレトペーパーなどを買いました。食事は一食10元から20元(200円ほど)で食べれます。日本食や韓国料理などのお店もありますが少し高いです。地下鉄も大学の最寄駅から成都で一番の都市まで3元で行けます。他には観光地に遊びに行くための交通費や、冬服をあまり持っていかなかったため、通販で服を買いました。基本的には日本よりも断然安いと思います。ATMで日本のカードから元を下ろして、中国の銀行口座に入金して、それを携帯のWeChat payに送金して使っていました。

その他・後輩へのアドバイス

出発前（どの様な準備が必要でしたか）

VISA、保険、航空券はインターナショナルトラストさんに分からないこと、不安なことを頻繁に確認していただいて、準備してもらいました。出発前は四川大学に留学に行かれた先輩方にもたくさん連絡を取り現地でのことを教えてもらいました。

クレジットカードはVISAカードを用意していきましたが、現地で使えなくなり、別に持って行っていったカードでお金を下ろしていました。カードはいくつか持ってしておくとうまいと思います。

研修中（どの様に学習に取り組むと良いか、余暇の過ごし方）

授業に慣れるまで、三ヶ月間は予習復習宿題をしないと授業についていけませんでしたが、初めは大変でしたが、日頃の授業の復習ができていればどの教科もテストは難しくありません。午前必修の授業が毎日あり、午後選択科目を多く取っていたので、土日はゆっくり過ごすことが多かったです。もう少し観光地に行ったり友達と遊びに行けばよかったなと思います。中国の文化や政治についてあまり知らずに行きましたが、現地で生活していて興味を持つことができました。中国についての知識だけでなく、日本と海外の違いなどは多く知っておいた方がより良く過ごせると思います。

研修中に困ったことはなんですか。また、どの様に対応しましたか。

まず、成都の秋、冬はかなり寒いです。冬服をほとんど持って行かなかったので防寒に困りました。寮も冬になるまでは暖房が使えず、教室も冬になれば暖房がつけましたが、様々な国の人がいることや、クラスの先生によって暖房をつける時、つけない時があり、私のクラスは暖房をほとんど使えないどころか先生が毎日窓を開けるので本当に寒くて授業どころではありませんでした。

そして、成都は大体曇りです。日焼けの心配はありませんが、大気汚染が酷い日だと、自転車に乗ると喉が痛くなりました。風邪や体調不良の薬は日本から沢山持っていきましたが、喉の薬を持って行かなかったので、少し困りました。ですが大気汚染も日常生活に支障はないと思います。

自由記入欄（次年度以降の後輩へ向けてのメッセージなど）

四川大学のある成都観光地もいくつかあり、都心部にも近く、便利で良いところ。美味しい四川料理も沢山あります。困ったこと、分からないことがあっても、中国の人は優しい人が本当に多いので聞けば助けてくれます。

留学生や、中国人の友達を沢山作って、沢山交流して、留学中でしかできない思い出をいっぱい作ってください。